

インドの歴史（近世）

ここでは、1498年にヴァスコ・ダ・ガマがカリカット（コーリコード）へ来訪以降【近世】を概括してみたいと思います。しかし、インドがヨーロッパ諸国とのかかわりを持つ以前までのムガル帝国についても簡単に触れておく必要があるかと思われます。ムスリム勢力が北インドに侵入し、支配を広げていったのは7世紀後半から13世紀初頭ですが、16世紀半ばにチングス・ハーンの子孫アクバルがムガル帝国を築くまではアフガニスタン系、トルコ系ムスリム勢力のいくつもの王朝が北インドを中心に入れ替わり支配していました。

アクバル帝の即位は1556年、北インドの大半を支配下に治めたのは没年1605年のことでした。前号で触れた通り、ヨーロッパ諸国がインドに到達したのが1498年のポルトガルを最初として、蘭・英・デンマーク・仏が17世紀中に、スウェーデン・オーストリアが18世紀中に次々と各地に商館や東インド会社を設立しています。これらの諸国は当時の主な貿易品を産する東南アジアを主な産地としたコショウ等の香辛料取引の中継点として港を中心とした点での支配に終始していました。従って、内陸部を支配するムガル帝国と本格的にぶつかることはありませんでした。しかし、ポルトガルに続きオランダに東南アジアの主たる貿易を押しえられていた当時の英国は、インドで活路を見出そうとしました。英国が東インド会社を設立したのが1600年。当時の英国東インド会社はオランダのそれには全く及びませんでした。以後200年余りの間にヨーロッパ諸国の力関係は大きく変わっていったのはご存じの通りです。



さて、アクバルが起こしたムガル帝国はその孫であるシャー・ジャハーン(在位1628～58)によって全盛期を迎え、有名なタージ・マハル墓廟もこの皇帝によって作られました。その後急速に衰えるムガル帝国とそれに乗じて起こる各地の有力者による反乱(1674～マラータ王国:チャトラパティ・シヴァージー等)とヨーロッパ諸勢力の争い等もからめて、結局は1858年イギリス直接統治が始まりました。

しかし、この前年には有名なセポイの乱が起こるなどインドのイギリスに対する不満は年々大きくなっていきました。そして1885年ボンベイで結成されたインド国民会議を草分けに全インドとしての国民運動へと繋がっていきました。初期の著名な活動家であるティラクによるスワデーシ(国産品愛用)の呼びかけやガネーシャ祭りやシヴァージー祭り等を組織することによって民衆に国民精神をうえつけようとした。このような活動は、一方ではムスリム勢力との対立を深めることにもつながり、後の印パ分離独立や現在にも深い影響を残しています。

ティラクの後、抵抗運動を指導したのがガンディーであり、後継者とされたジャワハラル・ネルーでした。ガンディーの運動がすぐさま全インドで受け入れられたかということ、事はそう簡単ではなく、国民会議の有力者たち(特にカルカッタ、ボンベイ、マドラスの知識人エリート層)は消極的だったようです。

そして、9月号「インドの独立」で述べたようにインド独立に直接的につながったのは、チャンドラ・ボースらインド国民軍が果たした役割が大きかったとのこと。

これまで5回に渡って簡単にインドの歴史を概括してみて、紀元前1500年頃からのアーリア人の侵入依頼、何度も他の文明の侵入を受けるたびに、それらの文化との融合を図り変化を遂げながら、古来からの文化や信仰も受け継いでいるインドという国の柔軟さと多様性が、日本との相違点だとあらためて感じさせられた次第です。

スタッフ感謝デー

12月14日(水)に行ったスタッフ感謝デー。普段見えないところで私たちが快適に過ごせるように一生懸命仕事をしてくださっている5名のスタッフに感謝を込めて一緒に遊んだり、感謝の手紙を送ったりしました。



↑ジャンケン列車はみんなで大盛り上がり🎵🎶



↑プラカッシュさんの罰ゲームも可愛かったですね!



↑感謝のお手紙をみなさん喜んでいただきました🌟

たくさんの方の支えがあって今の生活があることに改めて感謝です。普段からお互いたくさん声をかけあい、今以上にコミュニケーションをとっていけると良いですね。

スタッフのみなさん、本当にいつも「THANK YOU」

🎵親子レク😊

2月5日(日)の親子レク、多くの保護者の方にご参加いただきありがとうございました。普段の学校生活ではなか



なか外で活動できることも少なく、また一同にあれだけの人数が集まって何かをすることも本当に久しぶりで子ども達にとっては貴重な時間となりました。赤白、分かれて対決となったご家庭も多くありましたが、結果以上にみんなでワイワイ楽しむことができ2時間、あっという間に過ぎてしまいました。



今回も中学生、生徒会のメンバーがよく声を出し、動き、全体をまとめてくれました。本当に頼もしいお兄さん、お姉さんです。小学1年生から中学3年生までが一緒になってこうして行事を創り上げることができるのもこのムンバイ日本人学校の素敵な所です。今年度、このメンバーで生活できるもの残り1ヶ月を切りますが、最後まで35人全員で笑顔で過ごしたいと思います。

保護者の皆様、お忙しい中また暑い中たくさんご協力していただき誠にありがとうございました。



↑大盛り上がりの大玉転がし楽しかったですね😊笑顔が素敵



↑準備から片付けまで...お二人にも感謝を🌟